

## 平成25年度魅力ある学校づくり調査研究事業ブロック協議会資料

都道府県・政令指定都市教育委員会名〔香川県〕

## 1 拠点校及び連携校

区分	学校名	学級数	児童生徒数
拠点校(中学校)	坂出中学校	15(3)	423
連携校 (拠点校中学校区 内の小学校)	坂出小学校	22(4)	508
	金山小学校	9(2)	198
	川津小学校	15(3)	283

※学級数の( )には、特別支援学級数を内数として記入

※学級数及び児童生徒数は平成25年5月1日現在で記入

## 2 意識調査(アンケート共通項目)(%)

学校種	学年等	実施時期	児童生徒数(人)	ア 学校が楽しい				イ みんなで何かをするのは楽しい				ウ 授業に主体的に取り組んでいる				エ 授業がよくわかる			
				1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
中学校	全学年計	前年①	387	46.0	37.0	11.9	5.2	60.2	29.7	7.8	2.3	26.6	51.4	17.6	4.4	25.6	47.8	22.5	4.1
		前年②	390	46.7	35.9	10.8	6.7	59.0	30.3	8.5	2.3	27.4	52.1	18.5	2.1	19.1	48.5	25.5	7.0
		本年①	409	52.3	32.3	9.5	5.9	65.5	24.7	6.1	3.7	39.9	47.7	10.3	2.2	31.8	49.1	15.4	3.7
	3	中2①	148	45.3	39.9	9.5	5.4	60.8	31.1	6.1	2.0	25.0	47.3	22.3	5.4	23.0	45.3	26.4	5.4
		中2②	148	45.3	36.5	12.2	6.1	62.8	25.0	9.5	2.7	31.1	48.6	17.6	2.7	21.1	40.8	29.9	8.2
		中3①	144	42.4	36.8	13.2	7.6	61.1	31.9	3.5	3.5	37.5	45.8	13.9	2.8	17.4	58.3	19.4	4.9
	2	中1①	125	56.0	32.8	7.2	4.0	70.4	21.6	6.4	1.6	33.6	57.6	8.0	0.8	38.4	51.2	9.6	0.8
		中1②	127	50.4	36.2	7.9	5.5	59.1	33.9	5.5	1.6	26.0	49.6	22.8	1.6	21.3	53.5	19.7	5.5
		中2①	123	48.0	37.4	7.3	7.3	62.6	23.6	12.2	1.6	38.2	49.6	8.9	3.3	25.2	48.8	22.0	4.1
	1	小6①	168	67.3	23.2	6.0	3.6	84.5	10.7	3.0	1.8	38.1	52.4	7.7	1.8	50.6	43.5	5.4	0.6
小6②		171	60.8	28.1	8.2	2.9	74.7	18.2	5.3	1.8	40.4	48.0	9.4	2.3	52.6	38.6	7.0	1.8	
中1①		142	66.2	23.2	7.7	2.8	72.5	18.3	3.5	5.6	43.7	47.9	7.7	0.7	52.1	40.1	5.6	2.1	
小学校	高学年計	前年①	330	67.9	24.2	5.5	2.4	82.7	13.6	2.4	1.2	39.7	48.5	10.0	1.8	50.6	42.4	6.1	0.9
		前年②	334	61.1	26.3	9.6	3.0	75.4	18.6	4.5	1.5	41.9	44.3	12.0	1.8	46.7	45.2	7.2	0.9
		本年①	336	56.8	31.8	7.7	3.6	75.1	20.4	4.5	0.0	49.1	42.0	7.7	1.2	57.7	34.8	6.5	0.9
	6	小5①	162	68.5	25.3	4.9	1.2	80.9	16.7	1.9	0.6	41.4	44.4	12.3	1.9	50.6	41.4	6.8	1.2
		小5②	163	61.3	24.5	11.0	3.1	76.1	19.0	3.7	1.2	43.6	40.5	14.7	1.2	40.5	52.1	7.4	0.0
		小6①	164	53.0	37.8	6.7	2.4	76.2	18.9	4.9	0.0	48.8	45.1	5.5	0.6	59.1	34.8	5.5	0.6
	5	小5①	172	60.5	26.2	8.7	4.7	74.0	21.9	4.1	0.0	49.4	39.0	9.9	1.7	56.4	34.8	7.6	1.2

学校種	学年等	児童生徒数(人)	オ 叩かれたり、けられたり、強く押されたりした				カ 暴力ではないが、いじわるをされたり、イヤな思いをさせられた				キ 叩いたり、けったり、強く押したりした				ク 暴力ではないが、いじわるをしたり、イヤな思いをさせた			
			1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
中学校	全学年計	409	82.4	11.7	4.2	1.7	79.2	13.0	3.7	4.2	80.7	14.7	1.7	2.9	80.9	14.5	2.2	2.5
	3年	144	86.8	6.9	4.2	2.1	85.4	6.9	4.2	3.5	91.0	4.9	1.4	2.8	90.3	5.6	1.4	2.8
	2年	123	81.3	13.0	4.9	0.8	77.2	14.6	4.1	4.1	79.7	15.4	2.4	2.4	80.3	14.8	3.3	1.6
	1年	142	78.9	15.5	3.5	2.1	74.6	17.6	2.8	4.9	71.1	23.9	1.4	3.5	71.8	23.2	2.1	2.8
小学校	高学年計	336	66.4	20.5	7.4	5.7	59.8	23.8	8.0	8.3	67.3	20.8	6.8	5.1	62.8	26.2	8.6	2.4
	6年	162	72.6	18.9	4.9	3.7	63.4	20.1	9.1	7.3	76.2	17.1	2.4	4.3	68.9	24.4	5.5	1.2
	5年	172	60.5	22.1	9.9	7.6	56.4	27.3	7.0	9.3	58.7	24.4	11.0	5.8	57.0	27.9	11.6	3.5

※小学校は連携校の合計

※実施時期の第1回(①)は5月ごろ、第2回(②)は12月ごろに実施

※「オ」～「ク」の項目の調査は平成25年度から実施

### 3 課題・目標・取組

課題	児童生徒に意欲は出てきたが、互いの考えを取り入れ、目標に向けて見通しをもって取り組むまでには至っていない。
目標	互いの考えを認め合い、目標に向かってよりよく学び合い、高め合うことができるようになる。
取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えをもって学び合う授業づくりに努める。</li> <li>・見通しをもったり振り返ったりする場を設定し、主体性を育む。</li> </ul>

### 4 意識調査結果の分析

#### (1) 好ましいと思われる事項

小・中共通	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「授業に主体的に取り組んでいる」の肯定的な答え（当てはまる、どちらかといえど当てはまる）が、24年度に比べて増加している。</li> </ul>
中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中1の「授業がよくわかる」の肯定的な答えが小6から高い割合を維持している。</li> <li>・中3の「授業がよくわかる」の肯定的な答えが24年度に比べて増加している。</li> </ul>
小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「みんなで何かするのは楽しい」について、肯定的な意見全体の割合が若干向上し、「当てはまらない」と答えた児童が0になった。</li> <li>・「授業がよく分かる」について、「当てはまる」と答えた児童の割合が増加した。</li> </ul>

#### (2) 好ましくないと思われる事項

小・中共通	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「授業に主体的に取り組んでいる」について、「当てはまる」と答えた児童・生徒が、どの学年もまだ50%に達していない。</li> </ul>
中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中2と中3の「学校が楽しい」について、「当てはまらない」の答えが、24年度に比べて徐々に増加している。</li> </ul>
小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「学校が楽しい」や「みんなで何かをするのは楽しい」について、「当てはまる」と答えた児童の割合が減少した。</li> </ul>

### 5 取組事項

小・中共通	<p>①学び合い・話し合い活動のある授業づくり          合同での授業研究を行い、知識・技能の習得に向けた支援等により分かる・やりとげる喜びを実感させるとともに、互いの良さを認め合える学び合いや話し合いを取り入れた授業改善に努める。</p> <p>②小中9年間の発達段階に応じた子どもの学び合いの姿の明確化          小学校低・中・高、中学校における学び合い活動の目指す子ども像を明確化し、小中の教員が共通理解することで、子ども同士のつながりを深める学習指導を展開する。          各校で作成している「学び合いの目指す姿」「生活のきまり」「学習の約束」「家庭学習の手引き」の内容を検討し、共通化と系統化を図る。</p> <p>③行事や活動の体系化          行事や活動を体系化することで、児童生徒が様々な場面で自己有用感を感じ得られるようにする。また、昨年度効果的な取組であった「見通しをもたせ、自己決定ができる場や振り返らせる機会を設定すること」を継続し、児童生徒が見通しをもち、自らより良い学校生活を希求し、実践できるようにする。</p>
中学校	<p>①分かる喜びのある授業づくりのために「学び合い」活動の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スモールステップでの指導による学習内容の定着</li> <li>・各教科の特性を生かし、目的をもった学び合い・話し合い活動</li> <li>・互いの考えを学び合い、次の学習の課題に結び付ける支援の工夫</li> </ul> <p>②主体的に学習に取り組ませるために、見通しと振り返りの場の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「学習の手引き」を利用したガイダンスの充実</li> <li>・学習内容の系統や授業内容の流れを提示</li> <li>・生徒による自己評価カードの利用や自主学習ノートの活用の奨励</li> </ul> <p>③自主的、実践的な態度を育てる生徒会活動のさらなる充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動の価値を実感し、次の活動への課題をもつための事前事後学習の充実</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ルールやマナーを身に付けることを目的として実行委員会が自発的に取り組む「あたり前活動」</li> <li>・愛校心や絆づくりの基となる選択ボランティア活動を取り入れた「ほほ笑み<sup>+</sup>運動」</li> </ul> <p>④絆づくり，居場所づくりのための異学年交流</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行事における兄弟学級での活動</li> <li>・部長会や部活動ミーティングをもとにした異学年交流の推進</li> <li>・行事を通しての小学校との交流</li> <li>・地域と連携して行うボランティア活動の実施</li> </ul>
小学校	<p>①すべての児童が参加する授業づくり</p> <p>「自分の考えをもつ」「友だちの考えを聴く」，そして「よりよい考えに高める」を，学び合いにおける「子どもの姿」として明確にし，児童の実態に応じて，すべての児童が参加する授業づくりを目指す。また，課題別・習熟度別・人間関係・人数構成等を考慮した意図的グルーピングによる学び合いの活性化を図り，学び合いに消極的な児童に対する支援を行い，支持的風土のある学級づくりにも重点を置いて取り組むこととした。特に学習内容の振り返りとともに，学び合いについての振り返りの場も設定することで，学習における児童の自己有用感の育成の場について検証・改善に取り組んでいく。「全校」</p> <p>②異学年交流活動の工夫</p> <p>異学年交流活動をより工夫することで，自己の役割への気付き，責任感，思いやり，協力する力を育む。そのために，「計画を立てる時間」「自己決定の場と機会」「振り返りの場」を保障する。「全校」</p>

## 6 取組内容

### (1) 事業実施計画書に記載した月別実施内容

月	小学校で行う主な内容	実施状況	中学校で行う主な内容	実施状況
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内研修（めざす子ども像，授業改善の方向，各行事の意義の共通理解）（各小）</li> <li>・学級目標づくり（各小）</li> <li>・校外学習（各小：異学年交流）</li> <li>・スマイル班活動（金山小：異学年交流 通年）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○</li> <li>○</li> <li>○</li> <li>○</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回調査研究委員会【小中合同】</li> <li>・校内研修（めざす子ども像，分かる授業，学校の楽しさ）</li> <li>・部活動紹介</li> <li>・学級目標づくり</li> <li>・第1回連絡協議会（東京）</li> <li>・授業参観（小中・小小連携）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○</li> <li>○</li> <li>○</li> <li>○</li> <li>○</li> <li>○</li> </ul>
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回意識調査（全小）</li> <li>・運動会（金山小，川津小）</li> <li>・参加体験型人権集会（川津小：異学年交流）</li> <li>・ふれあい給食（川津小：異学年交流）</li> <li>・なかよしペア活動（坂出小：異学年交流）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○</li> <li>○</li> <li>○</li> <li>○</li> <li>△</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回意識調査</li> <li>・小中連絡協議会①【小中合同（連絡協議会の報告，運動会の取組について）】</li> <li>・部活動ミーティング</li> <li>・みんなでやりとげる感動を味わう運動会（小中連携）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○</li> <li>○</li> <li>○</li> <li>○</li> </ul>
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動会，なかよしペア活動（坂出小：異学年交流）</li> <li>・人権旬間（金山小）</li> <li>・参加体験型人権学習（川津小）</li> <li>・プール開き（小：異学年交流）</li> <li>・わくわくまほう農園（金山小：自然体験活動）（通年）</li> <li>・坂出小校内研究会（小小・小中連携）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○</li> <li>○</li> <li>○</li> <li>◇</li> <li>○</li> <li>○</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中連絡協議会②【意識調査の分析，運動会の学びを生活に生かす方法協議・合同研修の計画】</li> <li>・人権旬間</li> <li>・第1回教育相談（全学年）</li> <li>・授業参観（小中・小小連携）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○</li> <li>○</li> <li>○</li> <li>○</li> </ul>

7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なかよしペア活動（坂出小：異学年交流）</li> </ul>	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中連絡協議会③【主体的に取り組む授業づくり】</li> <li>・部活動見学会（小中連携）</li> <li>・校内研究会（市教委訪問）（小中連携合同研修会）</li> <li>・部活動ミーティング</li> <li>・総体壮行会</li> </ul>	○ ◇ ○ ○ ○
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内研修（すべての児童が参加する授業づくりー自分の考えをもって学び合うー）（各小）</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2回魅力ある学校づくり調査研究委員会【小中合同（生活のきまり、学習の約束、行事の取組の共通理解）】</li> <li>・第1回教育相談協議会【小中合同】</li> <li>・小中合同研修（小中・小小連携）</li> <li>・坂出中学校区児童会生徒会交流会（小中連携）</li> </ul>	○ ○ ○ ◇
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友愛訪問（川津小：異学年及び地域の高齢者との交流）</li> <li>・人権月間・えま集会（坂出小）</li> <li>・授業研究会（川津小・金山小：小中・小小連携）</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中連絡協議会④【小中合同（研究の中間のまとめ）】</li> <li>・文化祭（小中連携）</li> <li>・部活動ミーティング</li> </ul>	
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業研究会（坂出小：小中・小小連携）</li> <li>・なかよしペア活動（坂出小：異学年交流）</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中連絡協議会⑤【小中合同（リーフレット作成Ⅰ）】</li> <li>・ブロック協議会参加</li> </ul>	
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・坂出小えまフェスタ（坂出小）</li> <li>・幼保小交流（金山小）</li> <li>・ふれあい金山まつり（金山小）</li> <li>・常山フェスティバル（川津小）</li> <li>・参加体験型人権集会（川津小：異学年交流）</li> <li>・参加体験型人権学習（川津小）</li> <li>・中学校教員による出前授業（全小）</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中連絡協議会⑥【小中合同（ブロック協議会の報告、リーフレット作成Ⅱ）】</li> <li>・第2回教育相談（全学年）</li> <li>・部活動ミーティング</li> <li>・授業研究会（坂出中：小中・小小連携）</li> </ul>	
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2回意識調査（全小）</li> <li>・なかよしペア活動（坂出小：異学年交流）</li> <li>・人権月間（金山小）</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2回意識調査</li> <li>・第2回教育相談協議会【小中合同】</li> <li>・職場体験学習発表会</li> <li>・小中連絡協議会⑦【小中合同 小学生体験入学の工夫】</li> <li>・研究成果の発表【小中合同 香川の教育づくり】</li> </ul>	
1月			<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中連絡協議会⑧【小中合同】</li> <li>・部活動ミーティング</li> </ul>	
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なかよしペア活動（坂出小：異学年交流）</li> <li>・参加体験型人権学習（川津小）</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生の体験入学【小中合同】</li> <li>・先輩からのメッセージ（中から小へ）</li> <li>・第3回魅力ある学校づくり調査研究委員会【今年度の取組と評価】</li> <li>・入学周知会（中1ギャップ解消の取組）（小中連携）</li> </ul>	
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校進学に向けた情報交換会</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中連絡協議会⑨【小中合同】</li> <li>・第3回教育相談協議会【小中合同】</li> </ul>	

## (2) 8月末までに実施した具体的な取組

### 〔小・中共通〕

#### ① 学び合い・話し合い活動のある授業づくり

昨年から引き続き、児童・生徒が互いに学び合い・話し合い活動のある授業ができるように各校で取り組みを深めた。学び合い・話し合い活動により、児童・生徒が互いの絆を深めたり、自己有用感を高めたりできたかを検討しながら研究を進めた。

8月には、坂出小学校に4校全教員が集まり、小・中合同研修会を行い、昨年度の研究を基に作成した坂出中学校区の「小・中9年間の発達段階に応じた『学び合い』における目指す子どもの姿」を検討した。そして、9月以降の研究授業参観では、「児童・生徒の発達段階に応じた学び合いができていないか」「主体的な学び合いができる課題設定だったか」「学び合いに参加できていない児童・生徒への支援は適切だったか」の3点に着目して授業参観・研究協議を行うことを共通理解した。

#### ② 学習規律や学習習慣の定着

今年度は家庭学習の時間や取り組み方等のきまりに統一性が生まれてきた。例えば、昨年度は坂出小学校と金山小学校が家庭での自主学習に取り組んでいたが、本年度は川津小学校や坂出中学校でも積極的に取り組んでいる。家庭学習と同様に「生活のきまり」や「学習の約束」についても歩調を揃えて指導することが重要と考え、小・中合同研修会において話し合った。各校のきまりについて情報交換を行い、今後、「坂中校区 学校生活のきまり」を作成していく。あいさつ運動や交通立哨、情報モラルの指導等も統一して取り組もうと検討している。

#### ③ 行事や活動の体系化

運動会等の行事の際に児童・生徒に見通しをもたせたり、振り返りをさせたりする方法について情報交換を行った。ワークシートなどで記録を残すことの価値や自分が成長できた点や他の児童・生徒からの称賛の言葉が残るような記録にすることの重要性について話し合った。また、高学年、中学校になるに従い、自主的な活動を増やしたり、行事や活動ごとに振り返りの場を確保したりすることで、児童・生徒が次への見通しがもてるようにした。

また、小学6年生が中学校に出向いた部活動見学会は中学校生活に向けての自己決定の場づくりや、そのための情報収集の場となった。

8月には坂出中学校区合同児童・生徒会交流会を行い、児童会・生徒会の代表による各校の取組の紹介や、情報交換を行った。小学生は中学校の生徒会の活動を聞き、児童会活動との共通点や取り組み方の違いを学ぶことができた。

### 〔中学校〕

#### ① 分かる喜びのある授業づくり

各教科の特性を生かしつつ「学び合い」を意欲的に取り入れた。話し合いの目的を明確にし、話形マニュアル等を活用したり、小型ホワイトボードなどを利用したり、学び合い活動をしやすい環境づくりに努めた。学び合う場を設定することで、小学校で学んだ学び合いの仕方を生かし、生き生きと意見を述べ合うことができた。また、自分の考えを表現することが苦手な生徒も班活動に参加したり、全体の場で発表したりすることができた。



【ホワイトボードを使っでの話し合い活動】

#### ② 生徒の主体的な学習意欲を促す場の設定

各教科の学習指導において見通しと振り返りの場を設定した。「学習の手引き」を利用したガイダンスを充実させ、授業では学習内容の流れを提示するなど板書様式を統一した。板書様式の統一は、見通しをもった学習を進めることを生徒も教師も意識することができ、改めて重要性を感じた。



【板書様式の統一：学習の流れの提示】

### ③ 生徒会活動のさらなる充実

生徒会行事の事前には学級での話し合い活動を通して目標を定め、事後には学級・全校で行った振り返りを通して活動の価値を実感し、次の活動への課題をもつことができた。

ボランティア活動も「選択ボランティア」として生徒が選択し活動するように改善したことで、参加生徒数が増加した。



【選択ボランティア: あいさつ運動】

### ④ 異学年交流の推進

運動会での長縄練習や組み立て体操、創作ダンスの練習に兄弟学級で取り組んだ。綱引きなど兄弟学級で行う種目も取り入れた。異学年での練習は、教師による働きかけとは違った影響力があった。運動会当日には地区別玉入れに校区の小学生を招待した。運動会後の生徒の感想からは、それまでは意識していなかった「他の人を思いやる気持ち」や「誰かの役に立つことの喜び」を多くの生徒が実感していた。さらに、友だち、先輩・後輩、地域の人との絆の大切さも実感していた。



【運動会: 地区別玉入れ】

## 〔小学校〕

### ① 全ての児童が参加する授業づくり

昨年度の研究から、授業改善の視点を3つに絞ったことは前述の〔小・中共通〕の①で述べた。「自分の考えをもつ」「友だちの考えを聴く」「よりよい考えに高める」を全教員で確認し、授業の中に取り入れた。具体的には、お互いに聴き合ったり話し合ったりしてクラス全員で一つのものを作り上げる活動を設定し、必然的に子ども同士の交流を生み出した。また、グループで発表ボードにまとめたり、対立した意見が出て互いに話し合う必要が生まれたりする活動を取り入れたりした。そこでは、互いの考えをノートやボード等で可視化して交流することで、明確な考えをもって、聴き合い、学び合うことの意欲化と活性化を図った(全校)。

二人でのペア対話や誰もが発言できるグループ編成で、意図的グルーピングによる学び合いの活性化を図り、学び合いに消極的な児童に対する支援を行い、支持的風土のある学級づくりにも重点を置いて取り組むこととした(全校)。

また、授業中や授業の終末に、教師が学び合いの姿を評価できる学校独自のシールやバッジを作成した(全校)。発表回数やノートのまとめ方、家庭学習等の観点別のシールやバッジを作成し、自分が認められた観点を意識できるようにした(金山小・川津小)。自分にはない考えや気付きが友達のノートにあればシールを貼るようにして、自分が友達の学習に役立っているという自己有用感を感じられるようにした(坂出小)。そして、何らかの形で全校生がそれらをもることができるよう考えている。子どもからは「たくさん種類のシールを集めたい。」や「今度はスポーツのバッジをもらいたい。」等、意欲的な声を聞くことができる。今後は児童間で評価し合うツールとしての活用の充実ができればと考えている(全校)。



【学び合いシールの例(坂出小)】



### ② 異学年交流活動の工夫

昨年度の活動を振り返り、活動ごとに全員が振り返る場を確保した。活動の相手への感謝の心を手紙やカードに書いて交流し、他者から認められていることを実感できるようにするとともに次への見通しをもたせる場とした(全校)。

全校生の縦割り班活動「スマイル班活動」で、毎年6年生全員がリーダーになって活動することで、下学年の児童は6年生にあこがれをもち、6年生は全校生のよきリーダーになろうと自覚を高めている(金



【スマイル班活動: 馬跳び(金山小)】

山小)。また、ペアになる学年の組み方を、上学年がより責任がもてるように、6-1年、5-2年、4-3年に変更したことで、下学年の児童が安心感をもって活動し、上学年に対する感謝の気持ちを育み、上学年は思いやりの気持ちを深め、信頼される喜びを実感している(坂出小・川津小)。

また、全教員で子どものよさを見取るために、担任以外の教師が子どものよさに気づいたら、メモを作り担任に渡した。それにより、子どもへの肯定的な声かけが増えて自己有用感が高まった(金山小・坂出小)。

## 7 8月末までの取組状況と課題(第1回意識調査結果を踏まえた内容を含む)

### (1) 順調に進んでいる事項

小・中共通	①各校で「学び合い」活動の授業が実践され、研究討議が進められている。 ②学習の手引きの作成や坂出中学校区の学校生活のきまりの作成している。 ③部活動見学や合同児童・生徒会などにより、中学校での行事や活動に理解が深まった。
中学校	①学習のガイダンスを盛り込んだ学習の手引きを利用するとともに、学び合いや話し合い活動を取り入れた授業改善に取り組んでいる。 ④行事において兄弟学級での活動を取り入れたり、小学生との交流を実施したりすることで異学年交流による絆づくりに努めている。
小学校	①全職員が共通理解のもと、子どもの頑張りを称賛するシールやバッジの活用が定着しつつある。 ②ペアや縦割りの異学年交流の学年や振り返りの方法の見直しを図ることにより、異学年交流が充実している。

### (2) 課題となっている事項

小・中共通	①学び合いに積極的に参加できない子への支援。 ②学び合い活動で目指す子ども像の明確化。 ③小中学校の行事や活動のつながりの明確化。
中学校	②各教科の特性を生かし、生徒自身が学習の伸びや高まりを実感するような学び合いや話し合い活動の工夫。 ③生徒会活動において、生徒が自己の活動を振り返り、新たな目標や課題をもてる評価の場や方法。
小学校	①授業に主体的に参加できない子どもへの支援。 ②異学年交流において下の学年の児童に自己有用感をもたせる工夫。

## 8 9月以降の重点推進事項

小・中共通	①合同の授業研究を重ねて、自己有用感の育成に必要な学び合いのさせ方、より主体的に学びに向かう課題の設定や教材開発の要素、評価の方法を小・中間で共有する。 ③各校間の交流行事のねらいの共通化と連携。
中学校	①生徒が主体的に授業に取り組むために、生徒自身がねらいを明確にもち、学び合いや話合うことの必然性のある課題を設定し話し合い活動を工夫する。 ③行事や生徒会活動で兄弟学級の取組を広げ、先輩の姿から新たな目標を見つけたり、後輩の応援により頑張る力を得るなどの体験活動を実施する。
小学校	①教師による評価だけでなく児童の頑張りを評価するツールを用いて児童間で評価し合う活動の充実を図る。 ②異学年交流の活動の充実と下学年側の児童の自己有用感を育む方法の情報交流を行う。

## 9 教育委員会の取組

### (1) 市町村教育委員会

#### 〔重点推進事項〕

- ・学校訪問により、各校を指導する。
- ・小中合同の授業研究の機会を奨励し、9年間を通して豊かになっていく学びの姿を教員が共有できるようにする。また、児童生徒が「分かる」と実感できる手立てを広める。
- ・「志をはぐくむ読み物資料」の更なる積極的活用を各小中学校に依頼する。
- ・「心をはぐくむ講師派遣事業」を拡充し、派遣校を増やす。
- ・第2回算数・数学オリンピック実施を通して、学ぶことへの意欲を高める。
- ・校長研修会、教頭研修会等で中学校区での小小連携、小中連携について指導する。

#### 〔成果と課題〕

- 小中連絡協議会、調査研究委員会に各校の教頭が参加することで、学校間の連絡調整が図られ、各校での取組の推進につながっている。
- 「志をはぐくむ読み物資料」を作成・配付し、各校で活用が工夫されている。厳しさを乗り越えて自己実現を図っていく人物の人生を疑似体験することで自己有用感を高め、すべての児童生徒が主体的な生き方のモデルを共有することができた。
- 児童生徒が「分かる」と実感できる手立ての1つとして、シールやボードを活用しての可視化を伴う学び合いが各校で広まり、主体的に学習に向かう学級集団が育っている。
- 9年間を通して豊かになっていく学びの姿について協議され、小中の教職員に共通理解が進んでいる。
- 実践成果のまとめが今後の課題である。

### (2) 都道府県教育委員会

#### 〔重点推進事項〕

- ・魅力ある学校づくり調査研究委員会、小中合同研修会に参加して指導助言するとともに、取組の焦点化を促す。特に学び合い活動の活性化を通して、子ども同士のつながりを強める取組を推進する。
- ・本県開催のブロック協議会への参加を県下の学校に促すことで、取組の普及啓発を図る。
- ・指定地域等の効果的な取組を生かし、県内の学校における「新たに不登校を生まない取組」の推進を図る。

#### 〔成果と課題〕

- 県教育委員会の関係職員が、本事業における研究委員会や研修会等に可能な限り参加し、取組状況を把握するとともに、取組の方向性等の助言を行った。また、ホワイトボードや相互評価シール等の学び合いを促進させるツールを活用し、取組の活性化を図った。本年度に入り、学校間、教員間の共通理解・共通実践が一層進み、子どもの望ましい変容も見えてきている。
- 不登校を未然に防ぐ効果的な取組をより具体的なものとして見出すとともに、今後、県全体での広がりをもたせていくことが課題である。本年12月26日（木）には、県内の多くの教員が参加し各校の取組を学ぶ「香川の教育づくり発表会」を開催する。まずは、この発表会を他校への実践を促す有効な機会にしたい。

#### 【問い合わせ先】

所属	香川県教育委員会事務局義務教育課		電話	087-832-3742	
職名	主任指導主事	氏名	石川 恭広	よみがな	いしかわ やすひろ